

■インフルエンザ予防接種のご案内

インフルエンザの予防接種を予約制で行います。

●小児（中学生以下）

【接種期間】～12月26日(水)

※火・水・金曜日のみ（休院日を除く）

【予約受付】～12月14日(金)までに受付へ

休院日を除く月～金曜日の午前9時～午後5時

☆電話予約は午後1時～4時

●大人（高校生以上）

【接種期間】～12月27日(木)

※月～木曜日（休院日と金曜日を除く）

【予約受付】～12月14日(金)までに直接受付へ

休院日を除く月～金曜日の午前9時～午後5時

☆電話予約はできません。

【ご注意！】1日の接種人数、ワクチンの数量に限りがありますので、希望される方は早めに申し込んでください。

※接種費用についてはお問い合わせください。



■11月に宇陀市医療講演会を開催します

【演題】「知っておきたいおしっここの症状と泌尿器の病気」

【日時】11月14日(水) 午後2時30分～

【場所】文化会館 【申込み】不要

【講師】宇陀市立病院 泌尿器科部長
夏目 修医師



■職員募集のお知らせ

○作業療法士（正職員）1名

【資格】昭和59年4月2日以降に生まれた者で作業療法士の資格者または資格取得見込者。

【採用試験】小論文・面接

【試験日時】申込者に後日連絡します。

【提出書類】履歴書、資格証明書の写し

○看護師（正職員・パート）若干名

【提出書類】履歴書、資格証明書の写し

★問い合わせ&提出先 市立病院庶務課へ

（土・日曜日、祝日を除く午前9時～午後5時）



■糖尿病教室の11月のご案内

1日(木) 糖尿病の合併症（第5回）

8日(木) 低血糖、足のケア、体調が悪くなった時（シックデイ）の対応について（第6回）

※15日、22日、29日はお休みします。

【時間】午後1時30分～

【場所】北館2階栄養指導室

【参加費】無料 【事前予約】不要

◎開催予定日は、毎月の広報うだに掲載します。

■病院建設状況について

現在、外来棟の本体工事を行っており、来年1月15日に供用を開始する予定です。その後、駐車場など外構工事を行い、来年春のオープンを予定しています。騒音等でご迷惑をおかけしてはいますが、ご理解とご協力をお願いします。



(外来棟の本体工事)

外 来 診 療 日 程 表

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科	1 診	椎木（しいき）	松倉	林	椎木	林
	2 診	木村久	杉原	杉原	佐々木	浅井
	3 診	城井	福智	椎木	城井	佐々木
	4 診				林	松倉
外科		中辻	越智（おち）	八倉	中辻	八倉
婦人科		休診	南淵（なぶち）	南淵	休診	南淵
整形外科	1 診	水撮【予約】	水撮（もんどり）	仲川	江川	仲川【予約】
	2 診	門野（かどの）		松本	松本【予約】	門野【予約】
	3 診	江川【予約】				酒本
耳鼻いんこう科		木村美	休診	岡本英	休診	金田
眼科		夏目恵	夏目恵	夏目恵	丸岡	夏目恵
皮膚科		休診	白井（しらい）	休診	休診	宮川
神経内科		拾尾（じゅうお）	拾尾【新患】	小原	拾尾	拾尾
泌尿器科		夏目修	夏目修	夏目修	夏目修【新患】	桑田
小児科		南	柴田	清水	土井	矢田

◎初診受付及び予約外の診療受付は、午前8時00分から午前11時00分までとなっています。

宇陀市立病院では、平成25年1月15日から お薬は院外の保険薬局をご利用 いただくことになりました。



当院では、現在、病院内の薬局窓口でお薬をお渡ししていますが、平成25年1月15日からは、院外の保険薬局へ当院発行の「院外処方せん」を提出していただき、その薬局でお薬を受け取っていただく「院外処方」に移行することになりました。

院外処方は、「病院やクリニックで処方せんを出す医師と、お薬を調剤する薬剤師との役割分担を明確化する」という政府の医薬分業政策の流れに沿うものです。

院外処方に移行すると、医師が患者さんを診察し、薬が必要な場合は院外処方せんを発行しお渡しします。患者さんまたは、ご家族の方は、ご希望の保険薬局に院外処方せんを持って行って薬を受け取り、お薬代をお支



払いただきます。

保険薬局では、薬の飲み方、効能、副作用、市販薬との飲み合わせなどについての詳しい説明をすることが義務付けられているので、患者さんにとっては薬に関するきめ細かなサービスが受けられるというメリットがあります。

一方では、現行の診療報酬では若干薬代が高くなることや、院外薬局に行く不便さが生じることも事実です。しかし、副作用の未然防止や重複投与のチェックなど、より安全で効果が十分に得られるような薬物療法を進めるためには、医薬分業は大変効果的な方法です。

このようなことから、平成25年1月15日から「院外処方せん」の発行を実施しますので、市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

Q：お医者さんは、どうして処方せんを出すのですか？

A：お医者さんは処方せんを出し、お薬のことを専門家である院外保険調剤薬局にまかせることで、一層診療に専念することができます。その結果患者さんは、より充実した医療を受けられるようになります。

Q：お薬だけほしい場合は、お医者さんに行かなくても薬局で調剤できますか？

A：いいえ、それはできません。薬局で薬を調剤してもらうには、医療機関で発行される「処方せん」が必要です。医師がその時の患者さんの状態を診断して発行するものですから、**必ず受診される必要があります。**

Q：お薬を受け取れる薬局は？

A：「保険薬局」「調剤薬局」「処方せん受付」などの表示がある薬局なら、全国どこでもご利用になれます。

【市内の保険薬局】

やまぐち薬局（榛原萩原）、いずみ薬局（菟田野松井）、宇陀市立病院の周辺に3カ所開設される予定です。

Q：支払はどのようになるの？

A：病院では診察や検査などの分の支払いをしていただき、お薬の会計は保険薬局でしていただきます。

Q：処方せんを薬局に持っていくと調剤の前にいろいろ聞かれますが、なぜですか？

A：お薬を安全に使用していただくために必要なことをお聞きします。例えば、以前にお薬で副作用やアレルギーがなかったか、他にどんなお薬を服用しているかなど、心配が無いことを確認して調剤します。なお、一度お聞きしたことは薬局で薬歴として記録し、次の調剤に役立てられるので、**かかりつけ薬局を決めておかれることをお勧めします。**

Q：かかりつけ薬局とは？

A：かかりつけ薬局を決め、いつも同じ薬局を利用することにより、保険薬局では皆さんの体質や今まで服用した薬の種類など、一人ひとりの細かなデータである薬歴を総合的に把握することができ、他の医療機関で処方された薬との重複投与、相互作用などの安全チェックも可能になります。

Q：処方せんがあればお薬はいつでも受け取れますか？

A：処方せんは規則により有効期限が決まっています。発行日も含めて4日間（土・日曜や祝祭日を含む）のうちに受け取っていただく必要があります。また、**処方せんを紛失した場合、あるいは処方せん発行から5日以上経過した場合は再診察が必要となります。**

問 宇陀市立病院 医務課（☎82 - 0381）